

令和7年8月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和7年8月25日（月） 午後1時28分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	斎 藤 純 郎	委 員	小 林 恵 子
委 員	上 田 佳 澄	委 員	渡 邊 愛

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	岡 部 清 美	主 幹	長 和 俊
学校教育課長	関 根 幸 子	社会教育課長	石 黒 昭 彦
統括指導主事	田 中 辰 弥		

5 本委員会書記

学 校 教 育 課 藤 野 聡 他 2 名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

専決処分の報告について

報告第 7 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 5 号 新規共催・後援申請について

議 案

議案第 22 号 分水良寛史料館移転整備に係る基本構想検討委員会設置要
綱の新規制定について

その他

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後 1 時 28 分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和 7 年 7 月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（小林 恵子）

8 月 1 日に行われた令和 7 年度市町村教育委員会研究協議会に参加した。

研究分科会でテーマ 1「不登校対策」、テーマ 2「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行」について、5 人程のグループで意見交換を行った。

自治体によってかなり違いがあり、考えさせられた。

テーマ 1「不登校対策」では、都市部では、校内教育支援センターやフリースクールも多々あり、連携することが当たり前のようであった。学校関係者としては、不登校を生まない、その予防にもっとシフトするべきではないかという意見もあった。

フリースクールの現状を見ると、あくまでもその子どもが主体的に何かをやりたいたいというものを中心に取り組んでいるため、体験としては不足しているのではないかという意見もあった。将来社会に出て自立していく力を育てるには、やはり学校で様々な活動や体験を通してコミュニケーション能力や人間関係調整能力を高めていくことが必要だという意見も出た。

最終的には、「たくましい子ども」を育てることが大事ではないかという意見にまとまった。

文部科学省からは、過去には「中 1 ギャップ」と言われていたけれども、今は「小 1 プロブレム」で、ギャップが大きいということであった。幼稚園や保育園から小学校 1 年生に入学すると何十人と集められ、全員が同じ方向を見て、同じことをするということが、子どもにとっては、とてもストレスを感じるという。

そこから不登校が増えているということで、小学校 1 年生の対応を何とか考えていただきたいという話であった。

テーマ 2「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行」については、こちらも自治体によって事情が異なっていた。燕市は、先進的に取り組んでいるようであった。

燕市は、規模が適切で、日頃から多くのスポーツイベントがあり、オリンピック選手との交流やキャプテンミーティング等、市内の子どもたちが顔を合わせる機会も多くあることで、違和感なく受け入れられているのではと感じた。

(2) 教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 燕市国際交流親善大使派遣事業として、9名の中高校生親善大使とともに、姉妹都市であるシェboyガン市や在シカゴ日本国総領事館などを訪問してきた。様々な交流活動を通して、たいへん充実した6日間となった。
- 部活動の地域展開が進む中、県大会や北信越大会、全国大会などにおける市内小・中・高校生の活躍の報告も届いている。子ども達の健闘に拍手を送る。

2 8月の行事から

(1) 燕市国際交流親善大使派遣事業【7月30日(水)～8月4日(月)】

(アメリカ・ウィスコンシン州シェboyガン市、シカゴ市 他)

- 日程を変更せざるを得ない状況となったが、歓迎していただいた市長はじめシェboyガン市の皆様、総領事はじめ在シカゴ日本国総領事館の皆様、そして、関わっていただいた皆様に深く感謝の意を表する。

(2) 広島平和記念式典派遣事業【8月5日(火)～7日(木)】(101会議室)

- 出発式に参加し、5名の平和大使に激励の言葉を送った。今年度の平和大使も、有意義な3日間を過ごすことができたようである。

学びの報告会(9月7日開催予定)も楽しみにしている。

(3) 燕市・南魚沼市プラットフォーム会議【8月8日(金)】(中央公民館)

- 多様化する行政需要に的確に対応するため、諸施策の取組や課題などを話し合った。対面での様々な情報交換は、とても有意義であった。

(4) WRO Japan 新潟地区予選大会【8月9日(土)】(吉田産業会館)

- 「つばくろロボキッズ教室」のチームが、小学生部門で2位と3位、中学生部門で1位となった。1位となった中学生チームは、12月に行われる全国大会に推薦された。

(5) ゆめづくりスポーツ教室【8月9日(土)】(吉田南小学校)

- アルビレックス BB ラビッツの選手3名から、市内のミニバスケットボールチームの女子小学生選手及び指導者に実技講習していただいた。

今後の練習にすぐに生かせる内容で充実していた。

(6) 燕市未来いきいき地域クラブ指導者研修会【8月11日(月)】

(中央公民館)

- 全国でご活躍の西原康行先生(新潟医療福祉大学健康科学部教授)から、「地域に求められる新しいスポーツ指導者とは」というテーマで、コーチング概論についてご指導いただいた。参加者は、指導者とサポーターをあわせて52人に上った。会を重ねるごとに参加者が増えていっており、地域クラブの着実な広がりを実感している。

3 結びに

- 子ども達の笑顔が教室に戻ってくる。有意義な2学期であるために、安全で安心な場、健康で豊かな学びのある場であるよう、引き続き学校を支援していきたい。

4 専決処分の報告について

報告第 7 号 共催・後援の教育長専決報告について

8 件の共催・後援申請について

〈No. 1、7 について石黒社会教育課長が説明〉

〈No. 2、3、4、5、6、8 について関根学校教育課長が説明〉

5 協議題

協議第 5 号 新規共催・後援申請について

2 件の共催・後援申請について

〈No. 1、2、3 について石黒社会教育課長が説明〉

〈No. 4、5、6、7 について関根学校教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

「番号2 第20回全日本ハイシニアソフトボール大会」について、共催・後援承認申請書の「その他の共催後援団体の名称」は、依頼する団体等が多い場合は、主な団体名を「〇〇市、〇〇教育委員会、〇〇協会、他」のように申請書に記載し、詳細は事業計画書等に記載するという対応としてはいかがか。

○社会教育課長（石黒 昭彦）

そのように対応させていただく。

○委員（小林 恵子）

「番号3 3B体操新潟南支部のつどい in つばめ」について、新潟県も後援されるのか伺う。

○社会教育課長（石黒 昭彦）

新潟市と燕市の後援となる。

○委員（中野 信男）

「番号4 中学生キャリア教育支援情報誌 ジモクラジュニア県央版2025」について、高校生向けにも無償で配布しているようである。

収支予算書からは利益が出てはいないが、民間企業であり、利益を出していると

考える。営利目的との関係性について精査していただきたい。

○教育長（小林 靖直）

懸念されている点を確認して、あらためて協議をお願いする。

6 議 案

議案第 22 号 分水良寛史料館移転整備に係る基本構想検討委員会設置
要綱の新規制定について

〈石黒社会教育課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

様々な意見やアイデアがあると聞いている、より良い基本構想ができることを期待している。

審議の結果、全員異議なく議案第 22 号は原案どおり議決された。

7 その他

8 閉 会 午後 1 時 56 分

燕市教育委員会会議規則(平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号) 第 17 条第 2 項
の規定により会議録に署名する。

令和 7 年 9 月 29 日

教 育 長 小林 靖直

教 育 委 員 中野 信男

教 育 委 員 斎藤 純郎

教 育 委 員 小林 恵子

教 育 委 員 上田 佳澄

教 育 委 員 渡邊 愛

会議録作成職員 伊藤 崇人